

第2回研修会（オンライン開催・オンデマンド期間限定視聴あり）

「脳卒中サバイバーからの報告」
～ジャーナリストの目で迫る当事者の本音と伴走型支援～

高次脳機能障害者支援法では当事者の意思を尊重し、あらゆる段階で「きれめのない支援」を行うことが基本理念の一部として掲げられています。研修会では、治療、リハビリテーションのほか、経済的支援、社会復帰に向けた環境調整、その他心理的サポートなど、当事者としての体験をジャーナリストの視点から分析を交えて発信していただきます。これらの具体的な支援の視点から、多職種の支援者がそれぞれの役割をつなぐ「伴走型支援」のあり方を考える研修会です。



- 日 時： 令和8年8月23日（日）14：30～16：30（受付14：00～）
- 開催方法： オンライン開催（Zoom）／オンデマンド視聴（YouTube 限定公開）
【配信期間：令和8年9月7日（月）～9月30日（水）】
- 内 容： 「脳卒中サバイバーからの報告」
講師 河居貴司氏（産経新聞社 WEB 編集室 室長）
「対談」
河居貴司氏・生活リハビリテーションセンター職員



【略歴】

産経新聞 WEB 編集室長。平成9年産経新聞入社。和歌山、浜松支局を経て社会部へ。関西の事件や行政などを担当してきた。京都総局次長、社会部次長を経て現職。令和元年12月に脳出血を発症。当時は右手足が動かず言葉も明瞭には話せなかった。その後、リハビリを経て令和3年に復職。現在もリハビリを続けながら業務を行っている。令和6年6月から同紙にて連載を開始し、病気の発症や入院生活などについてつぶっている。

主 催： 堺市

運 営： 堺市立健康福祉プラザ指定管理者

（堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団 共同事業体）

対象者： 医療機関・福祉機関・就労支援機関・相談支援機関・その他高次脳機能障害支援にかかわる方々

定 員： オンライン参加90名・オンデマンド視聴（定員なし） ※どちらかのお申込みになります。

（お申込みは先着順とし、オンライン参加は定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込み： 二次元コードでのお申込みまたは裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、
メールまたはFaxにてお申込みください。

締め切り：令和8年8月17日（月）

問合せ先： 堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター（中岡・西脇）

（Tel）072-275-5019 （Fax）072-243-0202 （Mail）reha-kensyu@sakai-kfp.info



第2回研修会 参加申込書（8月17日（月）締め切り）

【申込み方法】二次元コードにてお申込みください。

メールまたはFaxでのお申込みも可能です。



Mail：reha-kensyu@sakai-kfp.info

※ 件名に「第2回研修会申込み」と記入しオンライン参加かオンデマンド視聴か明記してください。

Fax：[072-243-0202](tel:072-243-0202)

※ 参加方法について、どちらかに ○ をつけてください	
() 当日オンライン参加 ※1週間以内に確認メールをお送りします。	() オンデマンド視聴 ※1週間以内に確認メールをお送りします。
所属機関名	
T E L	
メー ル ア ド レ ス	※参加端末ごとにご記入ください @
(ふりがな) お名前	職種
ふりがな ()	
(備考) 研修参加にあたり配慮(情報保障等)を要することがございましたらご記入ください。	

★ お申込み後、都合によりご参加できなくなった場合にはご連絡ください。

(本研修会は定員を設けておりますので、ご協力をお願いいたします。)

※ 警報の発令等で研修会が延期となる場合があります。

※ ご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法を遵守し適切に取り扱います。なお主催者が撮影した写真・映像は当センターの情報誌・ホームページの掲載に使用させていただくことがあります。

※ 資料著作権・肖像権・個人情報保護の観点より、本研修会の録画・録音・撮影、および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。(この申込書をもって同意されたものとさせていただきます。)

※ オンデマンド視聴はYouTube限定公開となっています。配信期間内にご視聴ください。